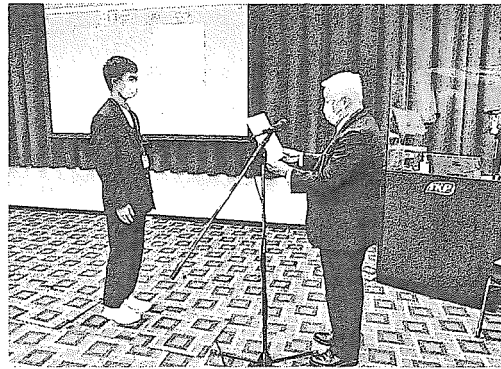


最優秀賞に小野、油田氏

夢アイデア交流会22を開催

九州建設



(一社)建設コンサル
タンス協会九州支部(田
中清支部長)は3日、福
岡市内で「夢アイデア交
流会2022」を開催し
た。交流会では1次審査
を通過した提案者らが、
自らの夢アイデアについ
てプレゼンテーション
し、一般の部の最優秀賞
には沖縄県在住の小野美

もの。
交流会は冒頭、田中支
部長が、今回の応募状況
等を踏まえ「どの作品も
自分が書かずまちを良く
したい、この思いがこ
もった作品ばかりだった
が、時間の制約上、本日
の発表作品は10編に絞ら
せていただいた。これか
らの時間が皆さんにとっ
て素晴らしい時間になる
ことを期待している」と
あいさつし、プログラム
がスタート。
今年で20回目となる夢
アイデアには、北は北海
道から南は沖縄県まで、
全国各地から一般の部で
32編、ジュニアの部で16
編の提案が寄せられた。
この日のプレゼンテー
ションでは、1次審査を
通過した10編(ジュニア
3編、一般7編)のアイ
デアについて、提案者が
その内容を発表。また、
一般の編覧は、コロナ対
策としてWEB方式で行
われた。

プレゼン後の審査によ
り、一般の部では最優秀
賞に小野氏の提案を選ぶ
とともに、優秀賞には吉
岐市在住の山内幾朗氏の
「吉岐の島・学園都市建
設計画」、ジュニアの部
では最優秀賞に油田さん
の「SDGsと海とリサ
イクルな街」、優秀賞に
は霧島市の小学六年生の
岩谷千桜紀さんの「川原
の土地を有効利用」を選
定した。

講評では、各審査委員
らが「どの提案も社会
の課題を捉えており、
実現すればより良い社
会になるだろうという
作品ばかりだった」、「作
品にかけると皆さんの想
いを聞きながら、私たち
も何かをしなければ、と
いう想いを共有すること
ができた」、「身の回りの
他者への思いやりが詰
まった作品ばかりだっ
た」等、それぞれの発表

者の提案内容やプレゼン
テーションを評価。審査
委員長を務めた日野伸一
九州大学名誉教授は、「一
般の部・ジュニアの部と
も、良い提案が多く選考
が難航したことを説明、
「来年以降も、多くの皆
さんから積極的に提案を
頂くとともに、引き続き
世の中を明るくしてもら
えるような作品の応募を
期待している」等と話
した。